

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成29年度河内長野市学校運営協議会連絡会議
2 開催日時	平成30年2月5日(月)午後1時30分から
3 開催場所	市役所 別館2階 組合会議室
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 開 会2. 教育長あいさつ3. 委嘱状交付4. 会長・副会長互選5. 熟議の趣旨説明6. 熟議「今後の学校のあり方について」7. グループ発表8. 閉 会
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 子ども未来部 教育指導課 (内線 744)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

今後の学校のあり方を含めた、これまでの成果とこれからの課題

【長野中学校区から】

- 長野小学校と小山田小学校の合同で学校運営協議会を開催することで、中学校区全体でつながりが生まれた。
- 地域で子どもたちにできることを模索して、取り組んだ「安全マップ」。街づくり協議会との連携で作成したものを5年生の授業で活用することができた。
- 中学校区で考える学校運営協議会のあり方については、中学校区で運営協議会を設置し、各小学校で分科会として開催するという形も考えられるが、中学校のニーズ、各小学校のニーズが違うので、中学校に学校運営協議会を設置することによる課題が出てくると思われる。
- 統廃合に含めては、各学校を支えてくださっている地域も考慮しなければいけない。

【西中学校区】

- 天野小・高向小で合同の学校運営協議会を行い、その成果として西中学校区で合同のあいさつ運動を実施することができた。
- 公民館機能を学校に入れることができないかということに関しては、空き教室を活用すれば可能ではないか、しかし、来校する方々のための駐車スペースが校内にないため、駐車スペースの確保が必要となる。
- 地域のお手伝いいただく方々の高齢化が問題の一つ。子どもたちの親世代の方にもう少し参加いただくよう声をかけるが、仕事などの関係でなかなか難しいというのが現状。

【東中学校区】

- 3小1中のつながりが深まってきた。地域から学校への敷居が低くなり、参加する方が増えてきた。
- PTAと運営協議会のつながりが弱いところがある。互いに発信力を持ってつながっていかないといけない。
- 学校を支援する方が増えてきたが、参加していただく方々の高齢化が課題。次の世代の方を探していく方策を検討しなければならない。

【千代田中学校区】

- 美化キャンペーン、あいさつ運動、駅前コンサートなど千代田小学校運営協議会、楠小学校運営協議会と連携しながら中学校区で取り組むことができ、かつ地域の方にも参加してもらうことができた。
- 駅前コンサートでは中学生が発表することで、地域の方に中学生の様子を見ていただく良い機会。落ち着いた様子を直接見ってもらうことで、中学校に対する印象が非常によくなってきた。学校運営協議会を中学校区で取り組んでいる大きな成果。

- 中学生から「おはようございます」とあいさつをされた。これまで中学生からあいさつしてくれることがなかったが、学校運営協議会を千代田小・楠小と合同で開催することや小中一貫教育の成果もあって、自分からあいさつする子どもたちが育ったのではないか。

【加賀田中学校区】

- 多くの人たちが学校教育の活動に、青少年指導員、健全育成会の方々などいろんな方々が参画していただけるようになり、その活動も非常に充実したものになっている。
- 石仏と加賀田中は施設が隣同士であるが、加賀田と石仏との位置関係が離れているため、小小連携や加賀田中学校校区での交流が難しい。
- 青少年指導員、健全育成会、福祉協議会、まちづくり協議会、連合自治会などいろんな組織が校区内に連立されており、市の財政も厳しい状況下で、限られた予算をそれぞれに付けるよりも、組織を連合化するなど取りまとめて予算配分をした方がよいのではないか。
- 中学校区で一つの学校運営協議会を設置するというのも一つの方法であるが、各学校単位で話すからより充実したものになっているのであって、中学校区単位での学校運営協議会となると、学校ごとの課題について話し合ったり、学校運営に対する意見をいただいたりすることが難しくなると思われる。

【南花台中学校区】

- 1小1中なので、小中一貫が進んでいる。中学校の校長・教頭にオブザーバーとして、学校運営協議会に入ってもらっている。
- スマートエイジング、まちづくり協議会、学校支援地域本部、健全育成会、見守り隊などいろんな組織があるので、整理しないといけないか。
- 学校便りや地域の広報誌などで発信しているが、地域住民が気付けるよう南花台の町全体に学校運営協議会に内容を発信できるように改善していきたい。

【美加の台中学校区】

- 今年度新しく『和タイム』を設定し、折り紙やけん玉を子どもたちがチャレンジする時間とした。また『お月見会』ではたくさんの方が参加していただいた。
- 1小1中なので、小中一貫が進んでいる。中学校の校長・教頭にオブザーバーとして、学校運営協議会に入ってもらっている。
- 義務教育学校化の研究を今後していく中で、課題をひとつずつクリアしていかなければならない。